

ひかり

一般社団法人

光陽福祉会

発行日 平成 23年 11月 第16号

環境が育てるもの

統括 古田 真理華

人を育てる中で最も大切な事は、人とかがわること・人に自分を認めてもらうことではないでしょうか。そして自分を評価する。自分を肯定的に捉えることで人は成長するのだと思います。

子供たちの成長を見ると、学校行事の積み重ねで成長していく様子を見ることができます。夏休みの家庭学習から始まり、一年の中で最も学校行事が多いこの時期。運動会・体育祭から始まり、宿泊学習・修学旅行・校外学習といろいろな場面・環境の中で心も身体も大きくなっていくのが分かります。「一つひとつの行事には意味がある」と、知り合っ間もない頃にかけて頂いた菊池会長からの一言。それ以前までは、一つひとつの行事を前に「大丈夫だろうか…」と心配し過ぎていた私。特に宿泊学習では本当に心配した事を今でも思い出します。

意味がある…と言うのは、学校行事の目的・ねらいはその学年・年齢に合わせたプログラムがあるからです。それは、親も子どもそのプログラムに合わせて成長しなさい・子離れしなさいというシグナルなのかもしれません。

子は親のみの力では成長しません。周りにいる人から学ぶ・環境(状況)の中で経験を積みながら学び成長するものなのだと言葉から学ぶ事ができました。

子にとっては自分の力を発揮できる場・今までの練習の成果を発表できる機会となり、親にとっては子どもの頑張っている姿を目で確認できる機会、気付かなかった姿に気付かせて頂く場となります。心配するのではなく、経験できる場・成長できる場に送り出す気持ちで、そして笑顔で送り出し、笑顔で迎え入れて欲しいと思います。

失敗も経験・成功も経験。これは子ども親も同じなのだと言います。失敗できる場を失くさず失敗した経験から学び、成功したことを共に喜び合い次の目標を定める。この経験の繰り返しの中で社会性が生まれていくのだ言います。

そして、社会性がなにより人を成長させるものなのではないでしょうか。社会性…人が人として生きていくために必要なこと。その社会性を育てる場は、学校という小さな社会の中で取り組む一つひとつの行事の中に、もっと小さな社会「光陽福祉会」の中で取り組む療育の中に、繰り返しの経験を通して連帯感・充実感・達成感・責任感を育て高め合いながら、人から認められ自分を認める事ができる場となるのです。

学校(教育)と光陽福祉会(福祉)とが互いの役割を担う中で、共に子の成長を願い、保護者(家庭)との連携を図りながら、子どもにとって最適な環境を整えていけたらと願っています。

また、地域社会に出て頑張っている私達もTGWで働く彼らも考えてみると、会社という枠(環境)の中で、失敗と成功を経験し、人とかがわり、周りの人から認められ、そして自分を認めながら職場の環境によって成長しているのだ言えます。

だからこそいい環境・成長できる環境を作り出すために努力をしていきたい言います。

サポートセンターつぼみ 未就学の部

一日の様子

大島 由美子

未就学の部がスタートしてから4ヶ月。(10月半ば現在)

大泣き…。泣き疲れて眠ってしまう…。お弁当がのどを通らない…。

といった子ども達の姿が、今となっては懐かしい思い出のように感じられる今日この頃。

今は、随分と落ち着き、朝の会から始まり、療育に向かうというスタイルが定着してきた子ども達の朝の会とお弁当の時間の様子を紹介します。

【朝の会】

歌あそびでスタート！！

「手をたたきましょう」

1番“笑いましょワッハッハ” 2番“おこりましょプン
プン” 3番“泣きましょエンエンエン”…

その中で子ども達のお気に入り、2番のプンプン。
もうすぐプンプンの番だと察するとなぜかニヤリ顔に。
その表情が毎回可愛すぎる子ども達といつも楽しく笑っ
て泣いて泣いています。

「大きな栗の木の下で」

手(腕)をめいっぱい広げて大きいポーズ。指を使って小さいポーズ。大きいと小さいを全身を使って表現。

朝の歌「せんせい、おはよう」

歌に合わせて、お花のかたち、ことりさんポーズ、うさぎさんポーズを作って「おはよう」の挨拶。

出席

お名前を呼んでお返事。お友達の名前の時も一緒になって「はい」と手をあげる子ども、とにかくいつも返事も一生懸命。

手遊び「とんとんとんとん、ひげじいさん」

“キラッキラキラキラ 手はおひざ～” お話を聞く姿勢作りです。

出席のはんこ押し

一人ずつ今日の日付のところにスタンプ押し。枠の中に納める事、角度を合わせることは、まだ難しいのですが、インクをポンポンつけて、紙にポン(ペタッ)とつけていく姿が、まるで役場のお仕事の人みたい(はんこを押す人)で様になってます。

これらの流れの後に、療育が始まります。

【お弁当】

“おべんと、おべんと、うれしいなぁ…。み～んなそろってごあいさつ。いただきま～す”

の挨拶でランチタイムが始まります。はじめの頃は、苦手なものを発見したり、他事が気になったり、食べる気がそれてしまうとフラッと席を立ち始めてしまう子ども達でしたが、今では離席することも減り、食べ終わってごちそうさまの挨拶をするまで、席に着いて過ごすことができるようになってきました。

おにぎりは手つかみで、ごはんやおかずはスプーンやフォークを使って食べる練習(習慣づけ)をしています。スプーンは難しく、なかなか適量をすくうことができなかつたり、口に入れる時に、たくさんこぼしてしまったり…。食べたいのに思うように食べれないことで食事の時間も試練の場となっている子ども達。時間がかかってしまったり、たくさんこぼしてしまうこともあるけれど、どの子どももみんな自分で食べようと挑戦しています。そんな姿を私は、どこに落ちているかわからないご飯粒たちと格闘しながらいつも見守っています。

一人一人年齢も違えば、得意な部分・不得意な部分も異なり、それぞれのもっている性格、性質、成長の仕方、ペースも異なります。タイプの異なる子ども達。でも、どの子どもも小さい体で、精一杯頑張っています。そんな子どもたちの頑張りや成長を褒めながら、私も小さな変化、成長を見逃さないように心がけていきたいと思っています。来月からは療育の姿を紹介していきたいと思っています。



サポートセンターつぼみ 小学部



支払い訓練

～買物、外食、乗車体験のために～

村瀬 真理

つぼみでは、長期休暇には、買物、外食、乗車体験など、外食する機会も多く、外出先では、お金の支払いが必要となります。自分でお金を払えることを目指し、日々「お金の勉強」をしています。

1.【お財布の開閉】

子ども達が自分の財布を開けて閉めることができるように。出来ない時は、「持ち方はどうか?」「金具の大きさは合っているか?」「ファスナーは硬くないか?」など、原因を考え、改善したり、時には「お子様に合ったものに変えて下さい。」とお願いすることもあります。

2.【金種の判別】

金種の判別(理解)は、個々で大きく違います。

- ・形で判別できる子 (穴が開いたお金 = 50円)
- ・色で判別できる子 (10円は茶色 100円は白(銀)色)
- ・数字で判別できる子 (硬貨の数字を見て 100 という)
- ・マッチングで判別できる子

一人一人が、理解しているところから、10円(じゅうえん)50円(ごじゅうえん)100円(ひゃくえん)という言葉は何度もすりこんで、結びつけていきます。

3.【個数の理解】

数字が読めて、数を唱えることができても、物を数えることは難しいものです。フィルムケースを並べ、「1・2・3・・・」と指差ししながら数えていても、リズムに合わせて数を唱えること・1つずつ移動させてスライドさせていくことの表現になりやすく、言葉が早かったり動きが早くなることで、数と物がずれていき一致しなくなります。

そのため、数をかぞえる時は、物を移動させて「1コ」と数えるようにします。まずは、5コまで、次は10コまで理解できるように。個数の勉強は日常生活の中でもできます。つぼみでのおやつタイム 当番さんに「うまい棒1コとゼリー2コ」と伝え、当番さんは、全員分のお菓子が入ったカゴから、自分で数えてお盆に乗せて配ります。制作時には「目は2コで鼻は1コだよ」など生活の中で個数を意識することで、自然と理解できるようになるといいですね。

1・2・3の他にも買い物の疑似体験(例・もりや 予算200円)も行ないます。お菓子を選ぶ レジでお金を払う レシート・お釣りを受け取る お菓子を袋に入れるという流れですが「レシートとお釣りの受け取り」が難関なのです。お釣りを受け取る時は 手の平を上にして待つ レシートと小銭と一緒に握って財布に入れる という練習をします。(スムーズにレジを通ることはマナーの1つですよ)

さて、いよいよ実践。買い物訓練。

～Aくん もりやで200円の買い物～

Aくんはお菓子を選んでカゴに入れレジまで持っていき「おねがいします」と言いました。お店の方に「173円です」と言われ財布を開けると中には100円×1枚 50円×1枚 10円×4枚 5円×1枚1円×5枚が入っていました。Aくんは財布を見て呆然……。スタッフが「100円1コ出してね」と声をかけると100円を探すものの硬貨が多すぎて見つけれない様子。そのうちに怒り出し財布をひっくり返し中身を全部出してしまいました。

支払訓練では金種の判別はバッチリ!のAくん1円の単位の支払いもできますが、お店ではドキドキと緊張、焦りもありいつもの姿が出せません。できなかったことで悔しい思いをするのは子ども。子どもが使いやすい財布と支払いが無理なく出来る金種になっていますか? まずはできる事を確実に、そしてスモールステップを忘れず無理なく実践を進めていきたいと思います。ご家庭の御協力があってできるこの取り組み。

これからもご協力宜しくお願いします。

サポートセンターつぼみ 中学部



就労体験

～自販機補充の取り組みを通して～

山下 久瑠実

中学部では隔週の水曜日に飲料メーカーのご協力の下「就労体験」として自販機補充の取り組みを行なっています。

実際の補充に入る前に教材を使用し、練習を重ねます。大まかな一連の流れから、細かな部分まで1つ1つ意識しながら様々なことを学んでいます。

「様々なこと」とは…。

まずは挨拶。「お願いします」「ありがとうございました」…全員での挨拶はできるのですが、一人では忘れてしまう子が多いです。挨拶は基本中の基本ですが、だからこそとても大切な事。社会へ出た時にはっきり大きな声で挨拶できる人は好印象ですよ。挨拶を意識することで、コミュニケーション能力・社会性を高め対応の大切さを学んでいます。

次に、教材を使った練習。自分が手に持っている缶（ペットボトル）・番号のついたパネル・自販機に見立てた教材の番号を良く確認し補充していきます。この作業により、実際の補充と同じ動作や確認ができます。特に確認は商品を扱う上で大切な作業。自販機で商品を買った時、欲しい商品と違うものが出てきてしまったら、購入されたお客様や飲料メーカーの方にもご迷惑をかけてしまいます。その様なことが無い様に、この繰り返しの練習を行う中で確実にできるようになるまで取り組んでいます。現実性を高めるために大切な練習となっているのです。



そして実際の補充。実践では渡された缶・ペットボトルを写真と照らし合わせながら正確に入れていきます。中学部の子供たちは練習を積み重ね、動きや流れを体得しているため、とても手早く取り組む事ができています。写真がない物でも、入れる場所の番号を聞くことで、場所の番号を確認して補充する事ができます。また、場所の確認・商品との照合も大切ですが補充する缶やペットボトルの向きにも注意することも忘れてはいけな

いのです。缶やペットボトルの向きが違う事で、自販機の中で「詰まり」を起こしお金を入れても商品が出ないことになってしまうのです。そうした事を防ぐため、1個1個の補充に責任をもって取り組んでいるのです。以上のように、この就労体験を通して様々な事を学んでいます。1人1人が「働くこと」を意識して、確実なものにしていきたいと考えています。そのためにも取り組みのプログラムを少しずつ変更する中で意識・理解・姿勢を高めていけるようにしたいです。



サポートセンターつぼみ 高等部



指先の技術習得

～裁縫を通して身につけているもの～

松原 万琴

基本療育の一つに裁縫の取り組みが加わりました。裁縫では指先の動きが必須になってきます。指先の動きと一言に言っても多種多様…。指・手のひら全体を無理なく動かすことができるこの療育は、取り組みを通す中で形が出来上がるものとして、子ども達も楽しみを持ちながら取り組んでいるように思えます。

その裁縫の取り組みには段階があります。まずは指先の動きを柔軟にするために紐通しを繰り返し練習しています。紐通しに必要な動きとしては…

紐通しの準備

「紐を紐通しに挟みます」の声かけに右の写真のように垂直に挟んでしまう子が多く、紐通しの理解が必要でした。紐を穴に潜らせることのイメージを持たせることで垂直から延長線上に紐を挟むことを習得しています。



NG (垂直)



OK (水平)

紐を通す

まずは紐がどのように通されるのを見ること。イメージするところから始めています。第一段階では「布の工夫」布地をレース地に変更する事で紐の動きを目で追います。



イメージが出来上がったなら第二段階「布のステップアップ」綿地を使い手探りで紐通しに移ります。その布は直線のみ。真っ直ぐ通します。布を手繰り寄せながら進み、進みながら布の処理をしていく手の動きを習得していきます。



紐通しの理解・指先の技術が高まったら第三段階「巾着の紐通し」ループ(輪)になっている布地の紐通しにステップアップです。布が輪になっていることで布の手繰り寄せ・後処理が高度になってきます。どのように指と手を動かすと良いのかを実技体験。経験の積み重ねの中で習得していきます。



以上のような取り組みの中で指先・手の柔軟な動きを繰り返すことによって、左右別々の動きを無理なくこなせて行く事ができ、また細かな動きに対応できる器用さが備わってきます。器用な手先は今後の生活・就労の場でも決して無駄になる事はないと信じ療育を継続させていきたいと思えます。

移動支援

あれから・・・

移動支援 山本 量子

最近、子ども達の背が随分伸びてきて、だんだん抜かれていきそうです。顔つきも大人っぽくなり・・・。

まだ、寒い時から始めた自転車。デイから移動への取り組みの変化に気持ちが切り替えられない子。まず、外で決められた時間を過ごす事になれる事。自転車の取り組みどころか、嫌がって泣いて怒る姿だったり、様々でした。

どうなる事かと心配しましたが、今ではやる気も見られ自信持って参加してくれるようになりました。

こぎ出しも、力強くなって自力で乗れるようになり、少しスピードも出せるように進歩しています。最初こんなだったのに・・・と思い出しながら、今楽しんで取り組んでいる姿を見ていると日々の取り組みが積み重なっている事を実感しています。

これから、寒くなりますが、子ども達と共に楽しみながら頑張っていきたいと思います。



愛西市の子ども達の様子

ひとまわり大きくなりました

愛西市特別支援教育支援員 水谷 洋子

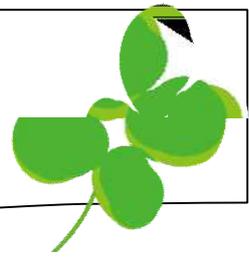
めっきり寒くなり、風邪をひき咳をする子供達が目に付くようになってきました。楽しみにしていた運動会でY君は徒競走に出場。惜しくも2位でしたが嬉しそうでした。

D君はラジオ体操ができるようになり、力いっぱい手を叩き応援していました。毎日暑い中、練習してきた成果が表れ子供達がひと回り大きくなったように思います。

学習発表会の練習も始まり、あっちこっちから元気な歌声が聞こえてきます。支援員も子供達に元気をもらい、一緒に頑張っていきたいと思います。

働くすがた

～ 継続雇用に向けて～



経験と自信

ジョブコーチ 臨原 麻友子

彼らの作業は、加工から検査まで一人で行う自工程完結型。自工程完結型が始まった頃は不安や緊張から成形不良を見つけると「この成形不良は ですか？ ×ですか？」などジョブへの確認が多かったのを覚えています。それが今では自分で自信を持って判断し、作業に取り組んでいます。成形不良は全てがダメになるのではなく、中にはOKで通り、製品になるものもあります。その判断はとても細かく、迷うものもありますが、迷った時には会社の方やジョブに確認を取り、製品を作るための正しい判断を覚える努力をしてくれています。確認の際には、ただ聞くのではなく、“自分は思うか”自分の判断も報告してくれます。それは彼らが今まで積み重ねてきた経験と、経験の中でつけてきた自信があるからこそその報告だと思えます。

そして今、新しい取り組みが始まりました。彼らは1日にたくさんの種類のガスケットを生産しています。今までは1箱が終わると次のガスケットを会社の方に報告し、準備していただいていたのですが、今は自分で1箱終わると仲間に「次のガスケットを準備してきます」と報告をし、自分で素材置き場からガスケットを持ってきて準備をしています。

新しいことが始まることで不安もあると思います。しかし、その不安を乗り越え、力に変えてくれるとジョブは信じてます。彼らに乗り越えてほしいからこそ、時には厳しく対応することもあります。彼らは誰1人、あきらめることなく、1つ1つに立ち向かい、挑戦を続けています。そんな彼らの姿を見て、ジョブもたくさんを学んでいます。

「任される」ことは、頑張りを認めてもらったからこそ。「任される」プレッシャーや不安の中で「任された」嬉しさ、自信、責任を感じながら彼らには、これからもいろんなことに挑戦を続けてほしいなと思います。経験を積み重ね、自信や力をたくさん、たくさんつけて出来ることを増やして欲しいなと思います。

10月からは少しずつ新しいガスケットも始まってきます。中には難しいものもあるかもしれませんが、しかし諦めずに取り組むことで必ず自分の力に変わり出来るようになると思います。これからも近くで彼らの挑戦を見守り、時には一緒に悩みながら「まずはやってみる」ことを大切にして一緒に取り組んでいきたいと思っています。

ご報告

【新社屋の建設に向けて・・・】

多くの皆様から、期待をされ、待ちわびた「(社)光陽福祉会 新社屋」が、10月17日(月)に土地の契約及び建物の契約を無事に交わすことができましたので、ご報告いたします。いよいよ夢から現実へと一歩大きく前進致しました。ご協力を頂きました皆様には、心より感謝をしております。ありがとうございます。

今後の予定と致しまして、11月6日(日)に地鎮祭を行なう予定です。当初は、地鎮祭を10月中に行なう予定でございましたが、10月31日(月)に、児童福祉法が改定され、詳細が明らかになるとのことで予定を変更することと致しました。

今後、建設にあたり、工事の進捗状況など、随時報告させていただきます。皆さん楽しみにしててください。

今月の予定

(移動支援)

11月26日(土) プール指導(大阪障害者スポーツ指導者 講師 中野先生)

(愛西市特別支援教育支援員)

11月11日(金)	学習成果展	佐屋西小学校
13日(日)	学習発表会	勝幡小学校
19日(土)	学習発表会	立田北部小学校・草平小学校・八輪小学校

お知らせ

(サポートセンターつぼみ)

11月18日(金) つぼみ茶屋

今月の「つぼみ茶屋」では、五平餅を販売致します。

5時40分から販売致します。皆さん、ぜひ買いに来て下さいね。

朝晩めっきり涼しくなりました。むしろ寒いくらいで、『お鍋』が恋しい季節となりました。

そこで『もつ』はいかがですか? 我が家はすでに『もつ鍋』で「一家団楽」の予定が『もつ』の取り合いとなってしまいました(笑)

みなさんも『もつ鍋』で 心も体も温かくして下さい。

また、ハンバーグも大変好評です。和風だれとデミグラスソースの2種類があります。

FAXまたは、e-mail、電話にて随時、ご注文を承っております。

e-mail : tsubomi@tempo.ocn.ne.jp

TEL&FAX (058)260-6663 (担当) 古田・松田



編集後記

「暑い暑い」と言っていた夏がとうに過ぎ、とても過ごしやすい季節となりました。秋・・・と言えば『紅葉』の季節ですよね。

先日、新聞の一面に、とてもきれいな『紅葉』の写真が掲載されておりました。銀杏の木の黄色も見事ですが、もみじの赤色もとても鮮やかで華やかできれいですよね。毎年、ドライブがてら「紅葉狩り」に行きたい!と、思っているものの、子どもの行事に追われ、なかなか時間が作れず、旬外れとなってしまいます。

そんな中、今朝、出勤途中の信号待ちのとき、何気なく遠くの方に目をやると、辺り一面がピンク色で覆われた「コスモス畑」を見つけることができました。私の心まで華やかで明るい気持ちにさせてくれました。そんなコスモスもそろそろ見納めですね。皆さんも身近なところで、「秋見つけ」をしてみたいはいかがですか?